

2013 年度事業計画

学校法人中内学園
理事長 中内 潤

学校法人中内学園流通科学大学は、1988（昭和 63）年に商学部のみで開学して以来、総合政策学部、サービス産業学部、そして大学院（修士課程・博士後期課程）の 3 学部・4 学科、1 研究科にまで発展し、「流通を科学的に研究教育することを通じて、世界の平和に貢献し、真に豊かな社会の実現に貢献できる人材を育成する」という建学の理念のもと、世界で唯一、流通を総合的に科学する大学として、「ネアカ のびのび へこたれない（どこに出ても物怖じすることなく、誰とでもしっかり言葉を交わすことができ、逆境でもたくましく生き抜く）」精神を持った有為な人材の輩出に尽力し続け、全国でもトップクラスの就職内定率・就職率を残すことができいております。

【2012 年卒業生 就職内定率：96.7%（全国平均 93.6%）、就職率 74.5%（全国平均 68.9%）】

（就職内定率：内定者÷就職希望者数、就職率：内定者÷（卒業生数－進学者数））

※出典-----平成 23 年度「大学等卒業者の就職状況調査」（厚生労働省 平成 24 年 5 月 15 日発表）

<URL> <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000002a4ov.html>

しかしながら、私立大学を取り巻く外部環境の変化（18 歳人口の減少、有名私立大学の定員拡大、大学生の学力低下など）、内部環境の変化（学生募集状況の厳しさ等）は想定を超えた早さで起こっており、本学もこの厳しい変化に対応しなければなりません。

そのために、建学の理念を再認識した上で、これまでの教育システムを根本的に見直し、ベストな教育システムを構築するための投資と、それを推進する組織・制度を整備するための 5 ヶ年計画（中内学園中長期計画（N-PLAN））を 2012 年度に策定いたしました。

この中内学園中長期計画（N-PLAN）、特に大学改革においては、

- ・「ネアカ のびのび へこたれない」人材の育成
- ・学生が自分の個性を伸ばし、それを生涯学習へとつなげる「個性主義」の重視

を基本的な考え方とした上で、「学生に将来の夢や目標を早期に発見させ、“学生が気づいた時に、必要なことが学べる”教育制度の構築」を目指し、教育に関する様々な施策の実施に重点を置いています。

また、年々厳しさを増している「学生募集」についても、志願者増に向けて短期、中長期、それぞれの対策を検討・実施してまいります。

これらを踏まえ、【2013 年度事業計画重点項目】を特に重視するという考え方のもと、2013 年度事業計画を作成致しました。

【2013 年度事業計画重点項目】

<大学改革>

「ネアカ のびのび へこたれない」人材の育成
学生が自分の個性を伸ばし、それを生涯学習へとつなげる「個性主義」の重視

○教育

①将来の夢や目標を早期に発見させるためのカリキュラム改革

- ◎初年次教育を根本的に見直し、現行カリキュラムが完成年度を迎える翌 **2015** 年度からのカリキュラム体系について機関決定
- ◎将来の夢や目標を早期に発見させるための「気づきのプログラム」の内容決定に向けた取り組み
2014 年度教職課程設置に向けた教員採用、科目配置、時間割の作成、実習受入れ先の調整

②自らの課題を発見し、計画を立て、解決する力を養うための実践型・体験型プログラムの構築

- ◎モバイル端末を使用した双方向型授業の試験的導入
- ◎アクティブラーニングに対応した演習室 **3** 室を設置
- ◎社会連携プログラムの新規導入および継続実施
 - ・ 阪急阪神ホテルズ杯・神戸研究学園都市大学ゼミ対抗プレゼンテーション大会の開催
 - ・ アスピア明石、湊川マルシン市場連携チャレンジショップ運営
 - ・ 日産自動車連携・企画プレゼンテーション大会実施など

③チームで働く力を養うための少人数型・参画型教養教育カリキュラムの構築

- ◎将来の夢や目標を早期に発見させるための「気づきのプログラム」の中に、チームで働く力を涵養することを目的としたプログラムの導入を検討
- ◎人材育成プログラムの継続実施
 - ・ リテール事業コース（リテール人材育成プログラム）
 - ・ 観光まちづくりコース（観光人材育成プログラム）
 - ・ ホテル事業コース（観光人材育成プログラム）
 - ・ 旅行事業コース（観光人材育成プログラム）

④学生の成長を支援する学修ポートフォリオの導入

- ◎学修ポートフォリオシステムの比較検討およびテスト運用の実施と **2014** 年度本格導入に向けた運用案の策定

⑤“学びたいことを学びたいときに学べる”柔軟な教育制度の構築

- ◎カリキュラム体系、卒業要件、転学部・転学科・転コース要件、必修科目の見直しを実施

⑥女子学生向け教育プログラムの検討・創設

- ◎女子学生のニーズを汲み取った教育体系（ブライダルユニット）を創設し、当年度より現行カリキュラムに先行導入

⑦留学生向け教育プログラムの検討・創設

- ◎日本語能力試験 1 級の受験促進
- ◎海外との学术交流として **SARD** 第 11 回ワークショップの展開
(本学協定校の高雄第一科技大学にて開催予定 (台湾))

○入試

①入学定員 900 名をどのような学生で満たすのかという方針の確立

- ◎アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）に基づく、「入学させたい生徒像」の明確化
- ◎学生募集対策
 - ・入試相談会、大学説明会の実施
 - ・オープンキャンパスの実施
 - ・各高校の特性に応じて高校訪問を展開

②上記の方針確立を前提とした入試制度改革

- ◎入試制度改革
 - ・ **AO** 入試のタイプ別出願等

③入試制度と教育カリキュラムの連動

- ◎主に **AO** 入試での入学者に対して、指導育成するための「事業継承者育成プログラム」の検討

④女子学生獲得の施策検討・実施

- ◎入試相談会、大学説明会での女子学生獲得施策
- ◎レストラン 1 階の改修工事
 - ・女子専用パウダールームの設置、カフェスタイルへの改装

⑤短期、中長期の学生募集および広報戦略の確立と実施

- ◎学内の広報素材の一元的な集約・管理と効果的な受験生広報の推進
- ◎客観的な広報環境分析と効果的な広報戦略の策定および実行
- ◎ブランドアイデンティティを確保するための統合性を重視した広報活動の展開

○学生生活

①課外活動活性化のための支援制度再構築

◎公認クラブ加入率目標 **42.0%**（前年度 **40.5%**、前々年度 **37.5%**）

◎指導者によるスカウティング強化

②規律性（社会のルールや人との約束を守る力）を身につけるための仕組みづくり

◎クラブを中心とした挨拶キャンペーン実施

2014年度のキャンパス全面禁煙化に向けた禁煙推進および喫煙マナーキャンペーン実施

③将来グローバルに活躍したい学生のためのプログラム再構築

◎留学希望者の拡大と語学養成プログラムの充実

◎国際交流プログラムの実施

・新入留学生宿泊研修実施（5月）など

④学生の修学をサポートする経済的支援制度の再構築

◎学内奨学金の充実

⑤有朋会との連携

◎ホームカミングデーの充実

◎支部活動の充実と個別同窓会の開催および立ち上げ支援

◎実学サロンの充実

◎情報発信の強化

・SNSによる情報発信と交流促進を実施（フェイスブック等）

○キャリア開発

①学生が自らの「個性」を認識するためのキャリア支援制度再構築

◎主に **3～4**年生を対象として、マス指導から個人別指導体制へ転換

②自らの課題を発見し、計画を立て、解決する力を養うための実践型・体験型プログラムを通じた職業観の醸成

1～3年生を対象として、「キャリア開発・職業観醸成」を意識させる施策実施

③特定の資格や職業を目指すカリキュラムの構築

◎特定の資格や職業を目指すための教育体系（事業継承、マスコミ、ホテル、フードビジネス等）の創設を検討し、当年度より現行カリキュラムに先行導入

◎資格取得支援室（税理士・国税専門官などの国家資格取得支援、基本情報技術者などの情報系資格取得支援、公務員講座等）の運営

◎資格取得講座への誘導

④留学生の就職支援

- ◎企業訪問、求人票請求等を通じて、留学生採用企業の発掘に努める

○教職員の採用・評価・昇格

本学の理念に沿って学生を指導する教員の採用・評価制度の構築

②職員の評価制度の再構築

- 行動指針（**For the Students**）に関連する項目を入れて評価を実施

○大学組織

- ①学生に将来の夢や目標を持たせるために、適宜適切な助言や指導ができる教員集団の組織化

- ②大学改革を推進し、PDCAをまわすための組織づくり

- ◎経営戦略会議（中内学園中長期計画（**N-PLAN**）に基づく具体的施策の策定を行う）を常設し、法人・大学が一体となる体制をとることにより、意思決定のスピードアップを図る

○大学風土

- ①「ネアカ のびのび へこたれない」精神の醸成

- ◎クラブ活動を通じてリーダーシップ、問題解決力の向上に努める（学生）
- ◎ボランティア活動援助制度を検討し、被災地や地域社会での活動を促す（学生）
- ◎チューター、リーダー制度など先輩学生が新入生を教育する文化・伝統を醸成する（学生）
- ◎結果だけでなく過程を評価する教育制度の検討（教職員）
- ◎中内学園中長期計画（**N-PLAN**）、大学方針、単年度事業計画の共有化（教職員）

For the Students（教職員全員の認識として）

- ◎教職員の行動指針を作成し、**For the Students**を徹底する

教職員が一丸となれる風土づくり

- ◎理事会・評議員会における審議内容を学内トピックスなどで直ぐに公開することで経営の透明性アップ、それに伴い、問題点や進むべき方向性を明確にする

<組織力・経営力強化>

大学改革を支援するための組織・制度改革および財務構造の磐石化

○意思決定プロセス

- ①理事会のリーダーシップの強化および中内学園中長期計画（N-PLAN）の法人・大学全体での共有徹底
 - ◎教育改革、学生募集など大学改革における最重要事項についての骨太の方針を理事会において決定し、法人・大学がそれぞれの役割分担の下に一体となって大学改革を推進する
 - ◎中内学園中長期計画（N-PLAN）に則った事業を推進し、各種施策における検証、および対策を実施する（PDCAをまわす）
- ②意思決定プロセスの明確化と透明化でガバナンスを機能させる
 - ◎情報公開規程の作成
 - ◎本学規程集の公開
 - ◎危機管理広報の強化

○人材育成

- ①問題発見し、解決提案できる職員の育成
- ②教職員のモラルアップ制度の構築（プロジェクト、タスク、表彰制度）
 - ◎職位に求められる能力・役割の明確化
- ③教職員の夢・志の醸成
 - ◎学生だけでなく、教職員が挑戦する姿勢を評価
- ④他大学、企業との太いパイプを構築するための支援制度導入

○財務構造

- ①安定した収入（入学定員 900 名の必達）と 3 大経費の予算統制による財務構造の磐石化
 - ◎予算実績の比較分析を行い、3 大経費を予算統制により効果的に配分
 - ◎投資計画と連動した基本金組み入れの実施
 - ◎監事、監査法人、監査室の有機的連携による各種監査の実施
- ②外部資金・寄付金の積極的な獲得
 - ◎外部資金の獲得
 - ・補助金獲得を増加させるための積極的な情報提供
 - ・補助金申請に関する全職員のスキルアップ

- ・科学研究費獲得のため、教員の申請書作成をフォロー
- ◎外部資金の適正使用
 - ・「不正使用、不正行為」防止のためのチェックシステムの強化
 - ・倫理規程の策定
 - ・不正防止計画の見直し検討
- RYUKA 未来基金の募集継続**

○投資計画

①大学改革における戦略的な投資計画

- ◎中長期計画に基づく計画的な投資およびスクラップアンドビルドによる抜本的な経費削減等の実施
- ◎国債を中心としたローリスク運用の実施

②学内のシステム整備計画策定

- ◎老朽化したパソコン等情報機器類のリプレイス実施

③施設・設備の整備計画策定

- ◎教室などの学内施設、およびネットワーク・基幹系システム等のインフラ整備に関する中長期計画を策定

<学園・大学の存在価値明確化>

リテールを一つの産業として確立させる

○リテール科学研究所の発展

- ①日本におけるリテール分野の研究教育について本学園が第一人者となるための施策検討
 - ◎リテール関係協会との意見交換会実施
 - ◎リテール関係協会へ本学教員を講師として派遣
 - ◎リテールマネジメントコースの訴求徹底（学内報の利用等）による希望学生の人数増

- ②リテール分野の研究者（教育者）育成
 - ◎リテールマネジメント分野の論文賞実施に向けた調査

- ③リテール分野で活躍するに相応しい（採用したい）人物像の明確化
 - ◎リテール関係協会との意見交換会等を通じて活躍する人物像を探り、リテールマネジメントコースカリキュラムに反映させる

- ④文系でも理系でもない“リテール系”の確立
 - ◎「リテール」という言葉の認知度について新入生アンケートを通じて調査
 - ◎「リテール」という言葉の浸透を図る
 - ・パンフレット、グッズ、キャラクター等の制作等

学園・大学の存在価値を明確にする中内 記念館、キャッシュレジスター博物館、流通科学研究所、流通資料館の発展

中内 記念館の活性化

- ・中内 記念館説明ガイド（マニュアル）の改編

◎キャッシュレジスター博物館の活性化

- ・キャッシュレジスターの歴史に関する書籍の発行

流通科学研究所の運営

- ・観光ビジネスモデル研究会、まちづくり・流通研究会等を継続実施

◎流通資料館の深化

- ・貴重資料のガラスケース展示